

地域・農業を担う次世代リーダーをめざして

J A種子屋久協同組合大学開校式

9月5日、本所大会議室において、J A種子屋久協同組合大学開校式が挙行されました。

協同組合大学は、県下J Aで初の試みとなります。当組合を含め2 J Aがモデルとなり、自己改革の一貫として、幅広い視点を持った地域・農業を担う次世代リーダーの育成を目的に開校されました。

第1期生12名による自己紹介では、「農協のことは分かっているようで分かっていないのでこの機会に学びたい」や「このような学べる機会を利用して農業に活かしいきたい」など協同組合大学に対して期待する声がありました。

開校式にあたり中央会常務理事の西田和夫氏を講師に「J Aのあゆみと仕組み、そして今問われているもの」と題しての講義があり、受講者は真剣に聞き入っていました。



▲講義の様子



▲第1期生の記念写真

『なくてはならないJA-SS』をめざして 第41回ドライブウェイ サービスコンテスト

9月10日、J A会館大ホールにおいて、第41回ドライブウェイコンテスト鹿児島県大会が開催され、種子屋久地区の予選を勝ち抜いた2名が出場しました。

「常笑」のテーマのもと、明るい笑顔と女性スタッフの接客レベルの向上が目立った今大会。厳しい審査を勝ち抜き、川迎SSの春田知子さんが見事最優秀賞に輝きました。

*出場者は次の通り

(西) 川迎SS 春田 知子さん
(南) 第1SS 永濱 誼さん



▲笑顔で接客する春田知子さん



▲(右) 最優秀賞に輝いた春田知子さん



▲少し緊張ぎみの永濱誼さん